

各 位

2023年3月15日
株式会社リットーミュージック『GarageBand で遊ぼう！～iPhone/iPad 無料アプリで音楽する』
ビギナーから DTMer まであらゆる層に贈るスマホ／タブレットで DTM 入門

インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『GarageBand で遊ぼう！～iPhone/iPad 無料アプリで音楽する』を、2023年3月20日に発売します。

音楽制作／DTM への入口として、iPhone/iPad ユーザーの間で定番化している無料アプリ＝Apple GarageBand の入門書。iPhone/iPad を使っていて、音楽に興味がある人なら、起動したことくらいはあると思います。しかし、適当に鍵盤をタップして、音を鳴らしてみるだけで、「よく分からないから終わり」にいませんか？

本書では、そんな GarageBand での音楽制作の手順を丁寧に解説し、そのポテンシャルを広く紹介。音楽制作に慣れていない人＆音楽理論を知らない人にもステップバイステップで音楽制作の

楽しみ方を伝授します。本書を見ながら GarageBand で遊んでいくうちに、必ず使いこなせるようになります。

GarageBand で遊ぼう！ 5つのポイント

1. GarageBand の豊富な機能の中で、「何がどこにあるか？」を作業の流れに沿って丁寧に解説しています。

第5章 Touch Instrumentで遊ぶ

GarageBandにはさまざまな楽器が用意されています。画面にタッチして演奏するので、Touch Instrumentと呼びます。楽器に慣れている人ももちろん、自分で触ったことのない楽器でも演奏できるようにさまざまな工夫があるので、まずはこれらのInstrumentに親しんでみるころから始めましょう。

楽器を選ぶ



Touch Instrumentには、ピアノ/エレクトリック・ピアノ/オルガン/シンセサイザーなどのキーボード (KEYBOARD)、第2章で紹介したドラム (DRUMS)、低音を担うベース (BASS)、アコースティックもエレキも用意されたギター (GUITAR)、バイオリンやピオラなどのストリングス (STRINGS)、馬頭琴や琵琶、琴などの民族楽器を集めたWORLDがあります。使い方に共通した部分も多いので、まずは「KEYBOARD」の「Smart Piano」を選んでみてください。

コードストリップを鳴らす



キーボードを選択したはずなのに、バーが並ぶ画面が出てきて、驚くかもしれません。これはGarageBand独自のコードストリップと言って、楽器になじみがない人でも和音が演奏できるように工夫されたものです。DRUMS以外のTouch Instrumentに用意されています。

Cと書かれたところに注目すると、これはC (Cメジャー) のコードを鳴らすもの。Cメジャー・コードの構成音は「ド/ミ/ソ」ですが、下のグレーのエリアは低音パートで、下からド、ソ、1オクターブ上のド。その上にある5つの白いエリアはCメジャーのコードで、上に行くほど高い音で構成された和音が鳴ります。試しにCの白いエリア (上) とグレーのエリア (下) を交互に鳴らすと、いかにもそれっぽい伴奏に聴こえますね。そのほか、EmもAmもDmも……すべて同様の作りになっています。



Touch Instrumentでは、演奏の強弱も表現できます。特に、普段から楽器を演奏されている方は、「えっ? タッチスクリーンで強弱?」と疑問に思うかもしれません。軽く触れたときは弱い音、強くグッと触れたときは強い音が鳴るような仕組みになっています。どうやら指で触れた面積で強さを判断しているようです。

076 | GarageBandで遊ぼう!

第5章 Touch Instrumentで遊ぶ | 077

2. GarageBand の豊富な機能を使いながら、曲作りの流れをフォロー。音楽制作に初めて取り組むビギナーにも「1曲を作り切ること」の楽しみをお伝えします。

第6章
自分の演奏で曲を作る!

GarageBandの楽器「Touch Instrument」に一通り触れたところで、「バレットと絵の具」の準備はできました。これからは実際に絵を描くように、曲作りの手順を一例として実演していきます。自分で考えた通りの音を加えていく作業は、ループや自動演奏以上に作品への愛着が湧いてきますよ!

基本となるコード進行を考える

どんな曲を作ろうか、まずはアイデアを練りたいと思い、「KEYBOARD」の「Smart Piano」で立ち上がるピアノを使ってみます。コードストリップを押さえて、考えてみましょう。筆者は、1小節ごとにAm→F→C→Gという4小節の形を考えてみました。これは定番のコード進行の1つですが、コードストリップを押さえながら、「この流れはいいな」と思った形をメモしてみましょう。あるいは好きな曲のコード進行を真似してみてもよいと思います。

090 | GarageBandで遊ぼう!

自分の演奏で曲を作る!

コード	ベース
E	なし
F	Maj
F#	Min
G	なし
A	Maj7
B	add9
Bdim	A

ここで、ちょっと調整をします。画面上の「設定」(歯車)から、「コードを編集」を選択。FをFM7(F Maj 7)に、GをG6にしてみました。

コードやコード進行について詳しく説明し始めるのと別の本が丸々1冊書けてしまうほどですが、以下のポイントを覚えておいてください。

- ドレミファソラシは英語ではCDEFGABで表記する
- コード名の先頭にある「C」「D」などは、コードの基音(ルート=元となる音)を示す
- コードにはMaj(メジャー:無印の大文字Mや△でも表記)とMin(マイナー:小文字のmで表記)がある。メジャーは明るい響き、マイナーは暗い響きが基調
- コード名に数字が追加されると、音が変わって響きが複雑になっていく

091 | 第6章 自分の演奏で曲を作る!

3. 「これをやりたい!」という目的に合わせ、設定や準備から録音～曲作りの手順を紹介しています。

「歌ってみたい」に挑戦しよう!

続いて、画面右上から2つ目、ループのアイコンをタップ。上の選択肢から「ファイル」を選び、「ファイルから項目をブラウズ」を選択し、ダウンロードしたオフボカル音源を探します。

前述したように「このiPhone内」「このiPad内」「Cloud Drive」のどれかの「ダウンロード」フォルダに保存しているはずですが、このファイルをタップします。

すると、GarageBandにファイルが読み込まれるので、これを長押ししてドラッグします。しばらくすると、トラック画面に切り替わるので、空いているトラックの先頭までドラッグします。

テンポを設定する

オフボカル音源を再生しながらメトロノームを鳴らしてみると、恐らくずれていると思います。曲のテンポを設定しましょう。右上の「設定」(歯車マーク)をタップして、「テンポ」を開き、「タップテンポ」を曲のテンポに合わせてたいてみます。

126 | GarageBandで遊ぼう!

第8章 「歌ってみたい」に挑戦しよう! | 127

4. 極力 iPhone/iPad のみで完結できるよう、内蔵マイクを使った録音テクニックも解説しました。

第7章 内蔵マイクで録音してみよう

GarageBandのループや楽器だけじゃなくて、自分の声や生楽器演奏を録ってみたいという人も多いでしょう。あるいは、鼻歌でアイデアを記録しておきたいという人も多いと思います。マイクや録音用機材を買わなくても、iPhoneやiPadの内蔵マイクを使って録音すれば手軽に楽しめます。ここではそのノウハウをお伝えしていきます。

イヤホン/ヘッドホンを使います



GarageBandでマイク録音の際には「AUDIO RECORDER」です。



内蔵マイクで録音すると、iPhone/iPadのスピーカーから出る音までマイクが拾ってしまいます。声だけを録りたいのに、そこにオケ(伴奏)がかぶってしまうのです。ですので、マイク録音するときはイヤホン/ヘッドホンを使います。

音が遅れます!



iPhoneやiPadでは(そしてパソコンも)、音楽制作ソフトには「信号の遅れ」がつきものです。まず、ソフトで処理をする時間がかかるので、再生音が少し遅れています。

さらに、ワイヤレスイヤホン/ヘッドホンは、その転送に時間がかかるので、もう1段階、遅れが大きくなります。

とはいえ、GarageBandの魅力は、iPhoneやiPadだけで音楽制作ができることでもあるので、まずはワイヤレスイヤホン/ヘッドホンを使う前提で話を進めていきます。

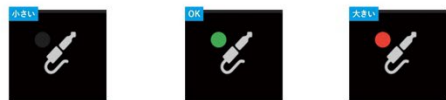


ということで、ワイヤレスイヤホンを接続してみました。ワイヤレスイヤホン/ヘッドホンの場合、通話用マイクが内蔵されているモデルが多いのですが、筆者と編集部で確認した範囲ではGarageBandはiPhone/iPad内蔵マイクで収録します。

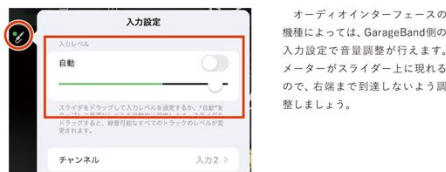
iPhoneは電話なので、本体の下側にマイクがあります。一方、iPadはモデルによってマイクの位置が異なりますが、上面や側面、カメラの脇などにボタンと1つか2つ、穴があればそこがマイクです(たくさんスリット状に穴が空いているところはスピーカーです)。

5. エレキギター録音や外部キーボードでの演奏をしたい人にも、そのための設定手順を紹介しています。

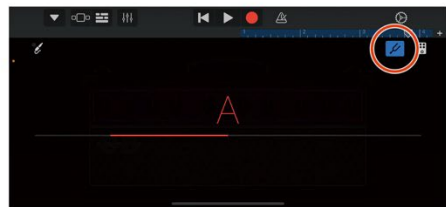
入力音量を調整する



さて、音が出るようになったら、入力音量を調整しておきましょう。ギターを鳴らしてみると、プラグ(入力設定)の横に緑の印が点くようになります。これが赤になると入力音量が大きすぎて音割れてしまうので、強めに弾いたときにも赤くならないよう、オーディオインターフェースの入力ボリュームを調整します。

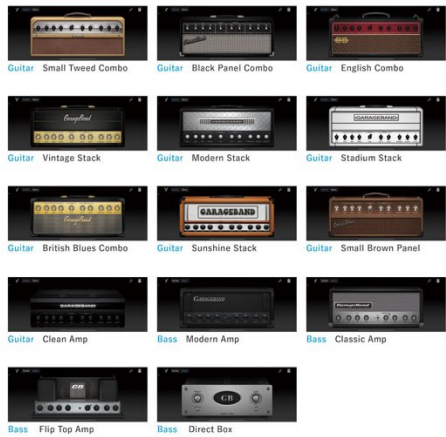


オーディオインターフェースの機種によっては、GarageBand側の入力設定で音量調整が行えます。メーターがスライダーに現れるので、右端まで到達しないよう調整しましょう。



そして、音叉のマークをタップすると、チューナーが起動し、チューニングも行えます(音はアンブシミュレーターをバイパスした素の音になります)。

いろいろなアンプを試してみよう



さて、AMPが楽しいのはアンプ/エフェクトを切り替えて好みのものを選ぶことです。アンプは左右スワイプで切り替えます。ギターは10種類、ベース用は4種類(DIを含む)のアンプモデルが用意されています。ほとんどが真空管アンプをモデリングしているので、入力音量やギターのボリューム調整でもひずみ具合をコントロールできます。

第9章で触れたエフェクトと同様に、アンプ/エフェクトも録音後に切り替えることができます。つまり、GarageBandに録音されている音は入力された音そのもので、アンプもエフェクトも再生時にかかっているわけです。

■書誌情報

書名：GarageBandで遊ぼう！～iPhone/iPad 無料アプリで音楽する

著者：阿瀬さとし

定価：2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）

発売：2023 年 3 月 20 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3122321001/>

CONTENTS

序章 GarageBandとは？

第1章 LIVE LOOPSで遊ぼう！

第2章 ドラムの演奏をアプリに任せる！

第3章 ループ素材で曲を作る！

第4章 自力でダンスビートを作る！

第5章 Touch Instrumentで遊ぶ

第6章 自分の演奏で曲を作る！

第7章 内属マイクで録音してみよう

第8章 「歌ってみた！」に挑戦しよう

第9章 エフェクトを使ってみる

第10章 エレキギターを録る

第11章 ジャムセッションで一緒に曲作り

第12章 曲の書き出し方／渡し方

PROFILE

阿瀬さとし（あせ さとし）

2006 年アコトロニカ・ユニット Cojok（コジョ）結成し、コンピューター&ギターを担当。アコースティックとエレクトロニカを融合した、その独自の音楽性と完成度の高いサウンドにより、2010 年レコードプロデューサー佐久間正英が代表を務めたサーキュラートーン・レコーズよりデビュー。そこから頭角を現し、数多くの CM 曲や劇伴などの作編曲を手がけて活動の場を広げる。Cojok の活動と並行して、Smash Room に所属し、作編曲家／ギタリスト／マニピュレーターとして活躍。

<http://cojok.net/>

- 本書は、独立した出版物であり、Apple Inc.が認定、後援、その他承認したものではありません。
- iPhone、iPad、GarageBand、その他は米国その他の国や地域で登録された Apple Inc.の商標です。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp